

■ 教員の著書・論文(ABC順) ■

(2011.12~2012.11)

【梓川 一】

- 『よくわかる社会保障 (第4版改訂)』(著書・共) / ミネルヴァ書房 2012.11
- 『「人間とは何か 生きるとは何か」『毎日新聞』(和歌山) 2月17日(朝刊) pp.24』(投稿記事・単) / 毎日新聞社 2012.02
- 「社会福祉における援助の本質」(研究ノート・単) / 『千里金蘭大学紀要』第8巻第42号 pp.156-165、千里金蘭大学 2011.12

【陳 礼美】

- 「Productive Aging in Japan」:J.Gao,N.Morrow-Howell & A.C.Mui (Eds) 『Productive Engagement in Later Life:A Global Perspective』(著書・共) / China Society Press 2012.01
- 「プロダクティブエイジング」:芝野松次郎・小西加保留編『高齢者ボランティアと社会展望』(著書・共) / 相川書房 2012.10
- 「Balancing long-term care in Japan」(論文・共) / 『Journal of Gerontological Social Work』第55巻第7号 pp.659-672、2012.09

【遠藤 知子】

- 『実践する政治哲学』(著書・共) / ナカニシヤ出版 2012.02
- 「What the Publicity Condition Means for Justice」(論文・単) / 『Politics』32.1 pp.39-45、Political Studies Association 2012.02
- 「社会的権利と積極的義務」(論文・単) / 『法哲学年報』2011 pp.158-169、有斐閣 2012.11

【藤井 美和】

- 「死を意識するとき—死にゆく人への関わり」(論文・単) / 『緩和ケア』第22号 pp.90-93、海声社 2012.06

【林 直也】

- 『「スポーツビジネスを通じた街づくり」:神野直彦・牧里毎治編著『社会起業入門』第5章 社会問題を解決するためのイノベーション1 pp.225-237』(著書・共) / ミネルヴァ書房 2012.04
- 「野外活動施設利用者における満足度に影響を及ぼす要因に関する研究—サービス評価と投資評価に着目して—」(論文・共) / 『身体運動文化論叢』第11号 pp.129-148、身体運動文化学会関西支部 2012.03

【市瀬 晶子】

- 「認知症高齢者の援助実践における personhood の理論・実践に関する文献レビュー—『人としての尊厳』の保障のありようをめぐる—」(レフェリー付論文・単)

/ 『同志社社会福祉学』25 pp.53-67、同志社大学社会福祉学会 2011.12

【井出 浩】

- 『触法発達障害者への複合的支援、司法・福祉・心理・医学による連携』(著書・共) / 福村出版 2011.12
- 『災害と子どものこころ』(著書・共) / 集英社 2012.10
- 『「災害と子どもたち—阪神淡路大震災の経験から—」: 『子ども学』14巻 pp.51-76』(著書・共) / 甲南女子大学国際子ども学研究センター 2012.03
- 『自死と協会—いのちの危機にどう応えるのか—』(著書・共) / キリスト新聞社 2012.11
- 『阪神淡路大震災の経験から—災害後の児童精神保健—』(論文・単) / 『児童青年精神医学とその近接領域』53巻 pp.100-109、日本児童青年精神医学会 2012.04

【池埜 聡】

- 『「東日本大震災と臨床ソーシャルワーク:新たなトラウマ・ケアの担い手として」芝野松次郎・小西加保留編著『社会福祉学への展望』pp. 57-64』(著書・共) / 相川書房 2012.10
- 「東日本大震災の行方不明者家族への支援:「曖昧な喪失(ambiguous loss)」理論を踏まえて」(論文・単) / 『家族心理学年報』第30号 pp.59-72、家族心理学会 2012.06
- 「複雑性トラウマへの接近: ARC モデルによる里親と子ども支援」(論文・単) / 『里親と子ども』第7号 pp.64-70、明石書店 2012.10
- 「東日本大震災被災者へのトラウマ・ケア—脳科学(neuroscience)に基づく統合的アプローチの実践」(論文・単) / 『Interactional Mind』第5号 pp.56-61、北樹出版 2012.11

【生田 正幸】

- 『「テクノロジーの活用 参加と変革のための ICT と情報の活用」: 神野直彦・牧里毎治編著『社会起業入門』第4章 ビジネスの手法を社会のために 3 pp.206-224』(著書・共) / ミネルヴァ書房 2012.04

【今井 小の実】

- 「少子社会におけるジェンダー問題—結婚というウインドウからみる—」: 川島典子・西尾亜希子編著『アジアのなかのジェンダー』pp.81-102 (著書・共) / ミネルヴァ書房 2012.05
- 「ジェンダー公平な福祉国家に向けて—“ケア”労働の脱ジェンダー化のために N. フレイザーのモデルに着目して—」: 芝野松次郎・小西加保留編著『社会福祉学への展望』pp.37-54 (著書・共) / 相川書房 2012.10

- 「福祉国家と家族政策の“ジェンダー化” —英米の家族政策と母子保護法の成立過程をフィルターにして—」: 一般社団法人日本福祉学会編 (編集担当平岡公一・湯澤直美)『対論 社会福祉学2 社会福祉政策』(著書・共) / 中央法規出版 2012.10
 - 「野口友紀子著 (2011)『社会事業成立史の研究—貧困概念の変遷と理論の多様性—』ミネルヴァ書房」 pp.126-128 日本歴史学会編集『日本歴史』第771号 (書評・単) / 吉川弘文館 2012.08
- 【石川 久展】**
- 『ソーシャルワーク論 (岡村理論の継承と展開第4巻)』(著書・共) / ミネルヴァ書房 2012.10
 - 『社会福祉学への展望』(著書・共) / 相川書房 2012.10
 - 「高齢者介護施設に従事する介護職員のバーンアウトに与える影響」(論文・共) / 『Human Welfare』第4巻第1号 pp.17-26、関西学院大学人間福祉学部研究会 2012.03
 - 「専門職ネットワークの構築・活用プロセスに関する研究」(論文・共) / 『人間福祉学研究』第5巻第1号 pp.73-84、関西学院大学人間福祉学部研究会 2012.11
- 【岩本 裕子】**
- 「地域社会と人・組織をつなぐ、触媒的人材:市民型コミュニティワーカーを育むプログラム開発に関する報告書」(報告書・共) / 『第二章 広がるコミュニティワーカー』 pp.6-13、『第三章 プログラムの評価』 pp.24-40、『第四章 今後に向けて』 pp.41-46、大阪市社会福祉協議会 2012.03
- 【甲斐 知彦】**
- 『キャンプの積み木』(著書・共) / 日本キャンプ協会 2012.09
 - 「キャンプの構成要素が青少年に対するキャンプ効果に及ぼす影響」(レフェリー付論文・共) / 『野外教育研究』Vol.15 No. 1 pp.45-54、日本野外教育学会 2012.03
- 【川村 暁雄】**
- 『国際社会を学ぶ』(著書・共) / 晃洋書房 2012.03
 - 「シリーズ社会的企業の可能性①—住民が主人公 北芝の挑戦はつづく」(その他・単) / 『ヒューマンライツ』No.292 pp.2-7、部落解放・人権研究所 2012.03
 - 「シリーズ社会的企業の可能性②—救援から多文化のまちづくりへ・当事者と共に歩む多文化プロキューブ」(その他・単) / 『ヒューマンライツ』No.293 pp.30-35、部落解放・人権研究所 2012.08
 - 「シリーズ社会的企業の可能性③—住まいまもりたいたい…コミュニティ・ビジネスで制度とココロのスキマを埋める」(その他・単) / 『ヒューマンライツ』No.294 pp.24-27、部落解放・人権研究所 2012.09
- 【川島 恵美】**
- 『ソーシャルワーク実習—養成校と実習先との連携のた
- めに—』(著書・共) / 久美株式会社 2011.12
 - 「社会福祉協議会における実習プログラムの開発的研究—社会福祉協議会での現場実習における学生の学習体験及び実習満足度に関する調査結果からの示唆—」(調査報告・共) / 『日本社会福祉教育学会誌』第6号 pp.123-135、2012.03
 - 『社会福祉学への展望』(著書・共) / 相川書房 2012.10
- 【小西 加保留】**
- 「地域支援論—医療ソーシャルワークの視点から—」: 右田紀久恵・白澤政和監修、小寺全世・岩田泰夫・小西加保留・眞野元二郎編著『岡村理論の継承と展開 第4巻 ソーシャルワーク論』 pp.239-264 (編著・共) / ミネルヴァ書房 2012.10
 - 「アドボカシー概念の再考—HIV/AIDS ソーシャルワークを通して—」: 芝野松次郎・小西加保留編著『社会福祉学への展望』 pp.75-92 (編著・共) / 相川書房 2012.10
 - 「社会正義はなぜソーシャルワーク実践の根拠となるのか」: 一般社団法人日本社会福祉学会編『対論社会福祉学5 ソーシャルワークの理論』 pp.157-180 (著書・共) / 中央法規 2012.11
 - 「要介護状態にある HIV 陽性者を支える地域の社会資源・制度の課題—エイズ拠点病院ソーシャルワーカーへの実態調査から—」(論文・共) / 『医療社会福祉研究』(20) pp.77-87、2012
- 【小西 砂千夫】**
- 『公会計改革の財政学』(著書・単) / 日本評論社 2012.03
 - 『政権交代と地方財政』(著書・単) / ミネルヴァ書房 2012.04
 - 『地方財政のヒミツ』(著書・単) / ぎょうせい 2012.11
 - 「“地方行財政” 2011年の三大ニュースと2012年の展望」(論文・単) / 『地方財務』 2012.01
 - 「南相馬市のいま (その3) —放射能除染が進まなければ展望が開けない—」(論文・単) / 『地方財務』 2012.01
 - 「東日本大震災からの復旧・復興財源の考え方 (1): 拡充された災害復旧事業等への財源措置」(論文・単) / 『住民行政の窓』 2012.01
 - 「東日本大震災からの復旧・復興財源の考え方 (2): 平成23年度第1～3次補正予算と24年度当初予算」(論文・単) / 『住民行政の窓』 2012.02
 - 「平成24年度地方財政への対応」を読み解く」(論文・単) / 『地方財務』 2012.02
 - 「2012年度の地方財政のすがたと社会保障・税一体改革のうごき」(論文・単) / 『月刊自治研』 2012.02
 - 「東日本大震災からの復旧・復興財源の考え方 (3): 復興交付金の概要と被災自治体の取り組み」(論文・単) / 『住民行政の窓』 2012.03
 - 「地方公営企業会計改革の意義」(論文・単) / 『地方財務』 2012.03

- 「社会保障・税一体改革における地方消費税率のあり方について―「素案」決定までの経緯を振り返る―」（論文・単）／『平成23年度地方行政ビジョン研究会報告書』2012.03
 - 「南相馬市のいま（その4）―復興交付金でどこまで復興財源がカバーされるかの不安―」（論文・単）／『地方財務』2012.04
 - 「社会保障・税一体改革の経緯と地方消費税率決定の考え方（上）」（論文・単）／『地方財務』2012.05
 - 「社会保障・税一体改革の経緯と地方消費税率決定の考え方（中）」（論文・単）／『地方財務』2012.06
 - 「市場化が進む地方債とその安全性」（論文・単）／『金融ジャーナル』2012.06
 - 「地方行革の構図とマクロの財政運営」（論文・単）／『ガバナンス』2012.06
 - 「南相馬市のいま（その5）―応援にきている派遣職員へのインタビュー―」（論文・単）／『地方財務』2012.07
 - 「社会保障・税一体改革の経緯と地方消費税率決定の考え方（下）」（論文・単）／『地方財務』2012.08
 - 「開発事業の黄昏―公営企業・第三セクター・公社等の抜本改革と安曇野訴訟最高裁判決―」（論文・単）／『地方財務』2012.09
 - 「地方財務700号記念 地方財政制度運営の軌跡を刻む10篇の論考」（論文・単）／『地方財務』2012.10
 - 「南相馬市のいま（その6）―南相馬チャンネルと除染作業の現実―」（論文・単）／『地方財務』2012.11
 - 「地方消費税の充実に伴う地方交付税等の改革課題」（論文・単）／『月刊地方税』2012.11
 - 「地方財政の制度運営における国の財政規律の投影」（学会報告・単）／『日本地方財政学会』2012.05
 - 「大都市制度（パネルディスカッション）」（学会報告・単）／『日本自治学会』2012.11
 - 「超過課税と標準税率引上げ」（評論・単）／『自治日報』2011.12
 - 「書評 佐藤主光著『地方税改革の経済学』（日本経済新聞出版社、2011年）」（評論・単）／『日本経済新聞社』2012.01
 - 「2012年度地方財政対策：出口ベースの交付税で今年度並み以上を確保できた成果は大きい」（評論・単）／『官庁速報』2012.01
 - 「社会保障・税一体改革素案における地方消費税率決定の意義」（評論・単）／『官庁速報』2012.02
 - 「公営企業会計改正の意義」（評論・単）／『自治日報』2012.03
 - 「地方財政の歴史的視点」（評論・単）／『自治日報』2012.06
 - 「第三セクターの整理と安曇野訴訟最高裁判決」（評論・単）／『官庁速報』2012.06
 - 「増税理解へ欠かせない地方の協力」（評論・単）／『読売新聞』2012.06
 - 「大阪都構想法案（大都市地域特別区設置法案）の考え方と実現に向けての課題」（評論・単）／『官庁速報』2012.08
 - 「普通交付税の交付抑制と2013年度の地方財政」（評論・単）／『官庁速報』2012.09
 - 「分権改革、二度目の転機」（評論・単）／『自治日報』2012.09
 - 「統治機構が真の問題なのか」（評論・単）／『自治日報』2012.11
- 【前橋 信和】**
- 「児童虐待の防止等に関する法律（児童虐待防止法）第7条に基づく虐待通告に係る守秘について」：芝野松次郎・小西加保留編著『社会福祉学への展望』pp.189-204（著書・共）／相川書房 2012.10
 - 「地域アセスメント手法の開発および保健機関による虐待発生予防介入モデル研究」（論文・共）／『厚生労働科学研究費補助金報告書 児童虐待の発生と重症化に関連する個人的要因と社会的要因についての研究』pp.139-176、研究代表者 藤原武男 2012.03
 - 「災害時における児童相談所職員の派遣システムおよび児童相談所の活動ガイドライン（案）の作成に関する研究」（論文・共）／『厚生労働科学研究費補助金（特別研究事業）研究報告書』pp.32-149、主任研究者 才村純 2012.03
- 【牧里 毎治】**
- 『社会起業入門』（著書・共）／ミネルヴァ書房 2012.04
 - 『自発的社会福祉と地域福祉』（著書・共）／ミネルヴァ書房 2012.09
 - 「コミュニティを基盤とした復興支援」（論文・単）／『ソーシャルワーク研究』第38巻第1号 pp.4-8、相川書房 2012.04
- 【松岡 克尚】**
- 「精神保健福祉士の援助技術の概要―新しい援助技術―」：長崎和則編『新版精神保健福祉士の仕事』pp.121-132、（著書・共）／朱鷺書房 2012.08
 - 「クレオール化概念に基づく『障害者―ソーシャルワーカー関係』の考察」：芝野松次郎・小西加保留編著『社会福祉学への展望』pp.39-111、（著書・共）／相川書房 2012.10
 - 「交互作用モデルの課題と社会モデル」：一般社団法人日本社会福祉学会編『対論 社会福祉学4 ソーシャルワークの思想』pp.174-198、（著書・共）／中央法規出版 2012.11
- 【嶺重 淑】**
- 『ルカ神学の探究』（著書・単）／教文館 2012.03
 - 『(W. R. テルフォード著) マルコ福音書の神学(叢書新約聖書神学①)』（訳書・共）／新教出版社 2012.06
 - 「洗礼者ヨハネの宣教―ルカ3:7-18の積義的考察」（論文・単）／『関西学院大学キリスト教と文化研究』第13号 pp. 23-35、関西学院大学キリスト教と文化研究センター 2012.03
 - 「荒れ野での誘惑―ルカ4:1-13の積義的考察」（論文・

単) / 『ヴィア・メディア (VIA MEDIA)』 第7号
pp.22-35、ウイリアムス神学館 2012.07

- 「(原口尚彰著) 幸いなるかな—初期キリスト教のマカリズム (幸いの宣言)」(書評・単) / 『日本の神学』 第51号 pp. 151-156、教文館 2012.09

【溝畑 潤】

- 「Bioelectrical Impedance 法による高齢女性の筋肉量の評価」(論文・共) / 『大阪体育学研究』 No50 pp.11-19、大阪体育学会 2012.03
- 「タグらぐびーとは」(短報・共) / 『大阪体育学研究』 No50 pp.53-57、大阪体育学会 2012.03

【村上 陽子】

- 『Encuentro con el mundo del español 1』(著書・共) / 朝日出版社 2012.01
- 『Encuentro con el mundo del español 2』(著書・共) / 朝日出版社 2012.01

【室田 保夫】

- 『近代日本の光と影—慈善、博愛、社会事業をよむ—』(著書・単) / 関西学院大学出版会 2012.03
- 『アーカイブ紹介(1) 同志社大学図書館: 『生江文庫』と『人文科学研究所』 史資料』(論文・単) 『社会事業史研究』 42号 pp.140-144、社会事業史学会 2012.09
- 「関西学院における福祉の系譜」『社会福祉学への展望』(著書・共) / 相川書房 2012.10

【中塘 二三生】

- 「Bioelectrical Impedance 法による高齢女性の筋肉量の評価: 中塘二三生、溝畑潤、大河原一憲、金憲経、田中喜代次」(レフェリー付論文・共) / 『大阪体育学研究』 50 pp.11-19、大阪体育学会 2012.03
- 「体力づくりを目指した卓球用新プログラム指導の客観性に関する研究: 森山琢磨、中塘二三生」(論文・共) / 『Human Welfare』 4 (1) pp.5-15、関西学院大学人間福祉学部研究会 2012.03

【中野 陽子】

- 「Japanese EFL Learners' Tendency Toward Syntactic Production in a Picture-Description Task: Establishing a Baseline for Syntactic Priming Experiments」(レフェリー付論文・共) / 『JACET 中部支部紀要』 第9号 pp.141-154、大学英語教育学会中部支部 2012.03

【Brian Nuspliger】

- 「The Internet use and e-mail communication in English by EFL teachers in Japan」(論文・共) / 『四天王寺大学紀要』 第54号 pp.331-350、四天王寺大学 2012.09

【表谷 純子】

- 「読解理論に基づくリーディング授業の実践」(論文・単) / 『異文化の諸相』 第32号 pp.61-74、日本英語文化学

会 2012.02

【大和 三重】

- 『第8章 少子高齢化社会と高齢者福祉—介護を支える人的資源の研究—: 『社会福祉学への展望』』(著書・共) / 相川書房 2012.10
- 「Balancing Long-term Care in Japan」(論文・共) / 『Journal of Gerontological Social Work』 55 (7) pp.659-672、Routledge 2012.10

【才村 純】

- 『「第3章第1節 子ども家庭福祉の法体系」『児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度: 新・社会福祉士養成講座』 pp.56-61』(著書・共) / 中央法規 2012.01
- 『「第3章第2節 子ども家庭福祉の実施体制」『児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度: 新・社会福祉士養成講座』 pp.62-75』(著書・共) / 中央法規 2012.01
- 『「第3章第3節 子ども家庭福祉の財政」『児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度: 新・社会福祉士養成講座』 pp.76-80』(著書・共) / 中央法規 2012.01
- 「子ども虐待」『子どもの保健第2版』 pp.123-126 (著書・共) / 診断と治療社 2012.02
- 『「第5章 児童家庭福祉制度における組織および団体の役割と実際」、『児童家庭福祉論—児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度』社会福祉学習双書 2011 pp.165-192』(著書・共) / 全国社会福祉協議会 2012.03
- 『「育児の不安と心の問題」『パパ・ママのための育児 Q&A1500』 pp.981-985』(著書・共) / 保健同人社 2012.03
- 『「発刊にあたって」『児童相談所はいま—児童福祉司からの現場報告』 pp. i-ii』(著書・共) / ミネルヴァ書房 2012.04
- 『「第3章第1節 児童家庭福祉の法体系」『新保育士養成講座第3巻』 pp.65-73』(著書・共) / 全国社会福祉協議会 2012.04
- 『「第3章第2節 児童家庭福祉の実施体制」『新保育士養成講座第3巻』 pp.74-88』(著書・共) / 全国社会福祉協議会 2012.04
- 『「第3章第3節 児童家庭福祉の費用」『新保育士養成講座第3巻』 pp.74-88』(著書・共) / 全国社会福祉協議会 2012.04
- 「児童虐待の現状と課題」(論文・単) / 『現代の社会福祉100の論点』 vol. 2 pp.138-139、全国社会福祉協議会 2012.03
- 「ファミリーソーシャルワークとは何か」(論文・単) / 『現代の社会福祉100の論点』 vol. 2 pp.156-157、全国社会福祉協議会 2012.03
- 「災害時における児童福祉職員の派遣システム及び児童福祉活動に関する研究」(論文・共) / pp.1-244、『厚生労働科学研究費補助金 (厚生労働特別研究) 平成23年

- 度研究報告書（主任研究者：才村純） 2012.03
- 「児童虐待の現状と課題—被災地の子どもたちのケアも含めて」（論文・単）/『人権のひろば』No87 pp.17-23、公益法人人権擁護協会 2012.09
 - 「門真市における乳児死亡事案検証結果報告書」（報告書・共）/pp.1-14、大阪府社会福祉審議会児童福祉専門分科会児童措置審査部会点検・検証チーム 2012.03
 - 「子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について—社会保障審議会児童部会児童虐待等要保護事例の検証に関する専門委員会第8次報告」（報告書・共）/pp.1-146、厚生労働省 2012.07
 - 「東大阪市における児童死亡事案検証報告書」（報告書・共）/pp.1-11、大阪府社会福祉審議会児童福祉専門分科会児童措置審査部会点検・検証チーム 2012.08
- 【坂口 幸弘】**
- 『死別後の悲嘆とグリーフケア：「エンディングマネジメント認定」講座テキスト pp.1-46』（著書・単）/鎌倉新書 2011.12
 - 「子どもの悲嘆とグリーフケア」（論文・単）/『健康教室』63（5） pp.78-80、東山書房 2012.04
 - 「高齢者の死別体験とグリーフケア」（論文・単）/『月報司法書士』488 pp.8-13、日本司法書士会連合会 2012.10
- 【佐藤 洋】**
- 『EBM 循環器疾患の治療、ACSは遺伝するのか？：佐藤洋、坂田泰彦 pp.7-11』（著書・共）/中外医学社 2012.03
 - 『社会福祉学の展望 高齢者心筋梗塞診療をとりまく諸問題：佐藤 洋』（著書・共）/相川書房 2012.10
 - 「Oral treatment with nicorandil at discharge is associated with reduced mortality after acute myocardial infarction.: Sakata Y, Nakatani D, Shimizu M, Suna S, Usami M, Matsumoto S, Hara M, Sumitsuji S, Kawano S, Iwakura K, Hamasaki T, Sato H, Nanto S, Hori M, Komuro I」（レフェリー付論文・共）/『J Cardiol. 2012 Jan』59（1） pp.14-21、The Japanese College of Cardiology 2012.01
 - 「Incidence, Predictors, and Subsequent Mortality Risk of Recurrent Myocardial Infarction in Patients Following Discharge for Acute Myocardial Infarction Nakatani D, Sakata Y, Suna S, Usama M, Matsumoto S, Shimizu S, Sumitsiji S, Kawano S, Ueda Y, Hamasaki T, Sato H, Nanto S, Hori M, Komuro I」（レフェリー付論文・共）/『Circulation J Oct 17. [Epub ahead of print]』The Japanese Circulation Society 2012.10
 - 「A subset of circulating microRNAs are predictive for cardiac death after discharge for acute myocardial infarction Matsumoto S, Sakata Y, Nakatani D, Suna S, Mizuno H, Shimizu S, Usami M, Sasakai T, Sato H, Kawahara Y, Hamasaki T, Nanto S, Hori M, Komuro I」（レフェリー付論文・共）/『Biochem Biophys Res Commun』427（2） pp.280-284、2012.10
- 「Low levels of serum n-3 polyunsaturated fatty acids are associated with worse heart failure-free survival in patients after acute myocardial infarction Matsumoto S; Nakatani D; Sakata Y, Suna S, Shimizu M, Usami M, Hara M, Sumitsuji S, Nanto S, Sasaki T, Hamasaki T, Sato H, Hori M, Komuro I.」（レフェリー付論文・共）/『Circ J.』 pp.153-162、The Japanese Circulation Society 2012.10
 - 「日本から発信するEBM24回INTERHEART:佐藤 洋」（総説・単）/『Vascular Medicine』8（1） pp.56-60、先端医学社 2012.01
- 【芝野 松次郎】**
- 『社会福祉学への展望』（編著・共）/相川書房 2012.10
 - 「ソーシャルワークの実践と理論をつなぐもの—実践モデル開発のすすめ—」（論文・単）/『ソーシャルワーク学会誌』第23号 pp.1-17、ソーシャルワーク学会 2011.12
 - 「社会福祉系大学における人材養成の意義と課題—いかに研究と実践の成果をソーシャルワーク教育課程に反映させるか—」（論文・単）/『社会福祉研究』115号 pp.21-29、鉄道弘済会 2012.10
- 【杉野 昭博】**
- 『社会福祉学 New Liberal Arts Selection.（序章、1～4章、12章、16章6節） pp.1-100,237-256,328-329,358-363』（著書・共）/有斐閣 2011.12
 - 「ソーシャルワーク理論史からみた生活モデル」（論文・単）/『日本社会福祉学会編「対論 社会福祉学4ソーシャルワークの思想」』 pp.152-173、中央法規出版 2012.11
- 【孫 良】**
- 『社会起業入門』（著書・共）/ミネルヴァ書房 2012.04
- 【武田 文】**
- 『「多文化社会」：神野直彦・牧里毎治編著『社会起業入門』 pp.237-250』（著書・共）/ミネルヴァ書房 2012.04
 - 『「国際社会における自発的社会福祉実践」：牧里毎治・岡本榮一・高森敬久編著『自発的社会福祉と地域福祉』 pp.81-99』（著書・共）/ミネルヴァ書房 2012.09
 - 「ソーシャルワークとアクションリサーチ（4）：「新QC七つ道具」を活用したアクションリサーチ」（論文・単）/『ソーシャルワーク研究』37巻4号 pp.303-313、相川書房 2012.01
 - 「シングルケース研究法」（論文・単）/『総合リハビリテーション』40巻10号 pp.1353-1357、医学書院 2012.10
- 【山 泰幸】**
- 『現代文化のフィールドワーク入門』（編著・共）/ミネルヴァ書房 2012.01

【山本 隆】

- 『『社会的企業の台頭』: 神野直彦・牧里毎治編著『社会起業入門』 pp.53-121』 (著書・共) / ミネルヴァ書房 2012.04
- 「社会福祉行財政とローカル・ガバナンス —基礎自治体からみた社会福祉運営論—」 (論文・単) / 『日本社会福祉学会編『対論 社会福祉学』』 第3巻 pp.61-101、中央法規 2012.10

【安田 美予子】

- 「参与観察を用いた研究における研究者の志向性に関する一考察 —研究経験をもとに考える—」: 芝野松次郎・小西加保留編著『社会福祉学への展望』 (著書・共) / 相川書房 2012.10
- 「ひとり暮らしとしての自立生活の方法に関する実証的研究: セルフマネジメント型と支援者支援型」 (論文・単) / 『Human Welfare』 4 (1) pp.83-92、関西学院大学人間福祉学部研究会 2012.03